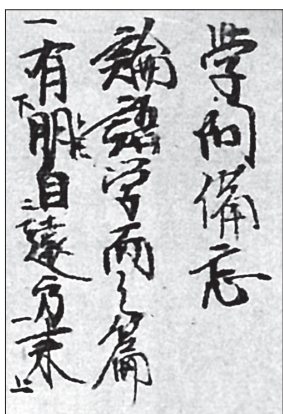


「天皇学」

入門ゼミナール

所功



皇太子統仁親王（孝明天皇）
宸筆（抄）『宸翰英華』より

「天皇学」は、日本学！

在来の「天皇史」から
新たな「天皇学」への入門講座！

図版多数

◎歴代の天皇は皇祖神の子孫と伝えられ、日本史上で政治的にも文化的にも大きな役割を果たしてきた。戦後教育の中で“天皇”という存在への問いは消されていたが、“天皇”を論じることなくして日本の歴史はない。

◎歴代天皇の主要な実績を平易に解説し、また最新の研究を補注し、補論では全天皇の略伝を紹介して、多様な「天皇学」への道を拓く「入門書」の決定版。

◎定価 本体 1,800円+税

四六変並製 416頁

2024年8月刊

ISBN 978-4-86578-431-2

藤原書店

まえがき——今なぜ「天皇学」か
本論の前に——「ミヤコ」の移り変わり

I 古代——大和時代

- 1 神武天皇の東征と建国の理想
- 2 崇神天皇のもとで国内統一に前進
- 3 倭姫命と日本武尊の歴史的役割
- 4 神功皇后による遠征と摂政
- 5 雄略天皇と倭王武の内政外交
- 6 皇統の断絶を救われた継体天皇と手白香皇后
- 7 仏教を慎重に受容された欽明天皇

II 上代——飛鳥・奈良・平安時代

- 8 推古女帝と摂政の聖徳太子による協力統治
- 9 画期的な「大化改新」を主導された天智天皇
- 10 日本の新律令体制を確立された天武・持統両帝
- 11 壮大な天平文化を具現された聖武天皇
- 12 危機を救われた孝謙と称徳女帝の宿命と苦慮
- 13 千年以上も続く「平安楽土」を築かれた桓武大帝
- 14 唐風文化にも和風文化にも精通された嵯峨天皇
- 15 聖代と仰がれる寛平の治をリードされた宇多天皇
- 16 永く仰がれる醍醐・村上両帝による
延喜・天曆の治
- 17 好学の一条天皇と後宮、および内覧の藤原道長
- 18 親政と初の院政に励まれた白河天皇

- 19 難局を切り抜けられた「治天の君」後白河上皇

III 中世——鎌倉・南北朝・室町時代

- 20 承久の変に殉じられた後鳥羽・順徳の
両上皇と土御門上皇
- 21 鎌倉時代の両統迭立と花園天皇の御教訓
- 22 親政に励み倒幕を断行された後醍醐天皇
- 23 吉野と京都の両朝合体と後南朝・伏見宮
- 24 戦国の乱世にも皇威を護り通された乱世の天皇

IV 近世——江戸時代

- 25 徳川幕府と対峙し続けられた後水尾天皇
- 26 朝儀文化の復興に尽力された霊元天皇
- 27 中継ぎと後見の功績大きい後桜町女帝(上皇)
- 28 朝廷主導の皇威を回復された孝明天皇

V 近現代——東京時代

- 29 近代的な立憲君主の明治大帝
- 30 貞明皇后と摂政宮の補佐をえられた
大正天皇
- 31 「二十世紀の名君」と称される昭和天皇の帝王学
- 32 「平成」の理想体現に邁進された象徴天皇
- 33 多様な水問題の研究も熱心な今上陛下

〈補論〉全天皇の略伝

〈付録〉歴代天皇の略系図
あとがき——「天皇学」への展望

「天皇学」への道しるべ

天皇に代表される皇室の在り方は、私ども一般国民の日本社会と重なりあっており、学ぶべきことの多い至高のお手本だ、と思われ
ます。

現在の天皇・皇族たちが行っておられる事、皇居の内外に有形・
無形の文化としてある物を、可能な限り広く知るならば、そこから
日本(国民・社会)の本来的・理想的な在り様を考えるヒントもえ
られそうです。

天皇を知ること、日本と日本人を知る重要な手懸りです。その
来歴(天皇史)を学ぶことによって、日本の国柄を深く理解する道
も拓けるのではないかと思います。
(本書「あとがき」より)

所 功 (ところ・いさお)

昭和16年(1941)12月12日、岐阜県出生(小田原市現住)
同41年3月、名古屋大学大学院修士課程(国史学)卒業
同61年9月、法学博士(慶應義塾大学、日本法制文化史)
令和元年11月、日本学賞(宮廷文化の史的研究)
職歴 皇學館大學文学部教員(9年間)、文部省初等中
等教育局社会科日本史教科書調査官(6年間)、京都産
業大学教養部→法学部・日本文化研究所教授(31年間)、
モラロジー研究所教授(10年間) 歴任。
現在、京都産業大学名誉教授、皇學館大學特別招聘教授、
京都宮廷文化研究所特別顧問、国民館館理事など。
著書 (皇室関係書として)前著『天皇の歴史と法制を
見直す』(藤原書店)付録V参照)。他に『三善清行』(吉
川弘文館)、『菅原道真の実像』(臨川書店)、『三善清
行の遺文集』(方丈堂出版)、『伊勢神宮』(講談社学
術文庫)、『京都の三大祭』(角川ソフィア文庫)、『未
刊論考デジタル集成』I(方丈堂出版)など。
補注筆者:久禮且雄 京都産業大学准教授
補論筆者:橋本富太郎 麗沢大学教授

好評関連書

天皇の歴史と
法制を見直す



皇室史の全体像に迫る!

◎二千年近く続いて来た歴代天皇と宮廷文化の実像を解き明
かし、近現代の皇室法制の成立史と問題点を概述しながら、
当面必要な改善案も提示する。

◎平安朝を中心に宮廷の儀式行事を精査してきた第一人者が、
日本の未来と皇統の永続のために、わかりやすく書き下ろし
た渾身の著!

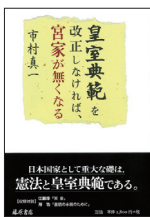
定価 本体三六〇〇円十税
ISBN978-4-86578-389-6

皇室典範を改正しなければ、
宮家が無くなる

市村真一(京都大学名誉教授/経済学博士)
日本国家として重大な礎は、憲法と皇室典範である。

【収録対談】江藤淳「天皇」/
所功「皇統の永続のために」

定価 本体二八〇〇円十税
ISBN978-4-89434-873-8



◎注文書 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町523 藤原書店 TEL 03-5272-0301 / FAX 03-5272-0450 info@fujiiwara-shoten.co.jp

★ご注文は、お近くの御便利なお書店で、またはインターネット書店等をお願い致します。

■注文 『「天皇学」入門ゼミナール』 () 冊
『 () 冊

お申込み書店(帳合・番線)

■お名前 ■メールアドレス

■ご住所(郵便番号)

■お電話番号 ■FAX番号